

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2015-32095(P2015-32095A)

【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-010

【出願番号】特願2013-160401(P2013-160401)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0485 (2013.01)

G 06 F 3/0488 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/048 6 5 6 D

G 06 F 3/048 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月7日(2015.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示画面を表示する表示手段(3)と、

ユーザ操作を検知する操作検知手段(4)と、

前記表示画面をスクロールするためのユーザ操作を前記操作検知手段により検知した場合に、前記表示画面をスクロールする制御手段(2)と、を備え、

前記制御手段は、前記表示手段にて第1の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記操作検知手段により検知した場合に、前記第1の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって前記表示画面のスクロールを開始し、前記表示画面をスクロール中に、前記表示手段にて第1の指定位置とは異なる第2の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第1の指定位置から前記第2の指定位置まで移動した操作を前記操作検知手段により検知した場合に、前記第2の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更することを特徴とする画面表示装置(1)。

【請求項2】

請求項1に記載した画面表示装置において、

前記制御手段は、前記表示画面をズームすると同時にスクロールするズームスクロール中に、前記表示手段にて前記第2の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第1の指定位置から前記第2の指定位置まで移動した操作を前記操作検知手段により検知した場合にも、前記第2の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更することを特徴とする画面表示装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載した画面表示装置において、

前記制御手段は、前記表示手段の画面中心を前記所定位置とすることを特徴とする画面表示装置。

【請求項4】

表示画面の表示態様を切換える画面表示方法において、

表示手段（3）にて第1の指定位置を指定するためのユーザ操作を検知する第1の手順と、

前記表示手段にて前記第1の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第1の手順により検知した場合に、前記第1の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって前記表示画面のスクロールを開始する第2の手順と、

前記表示画面をスクロール中に、前記表示手段にて前記第1の指定位置とは異なる第2の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第1の指定位置から前記第2の指定位置まで移動した操作を検知する第3の手順と、

前記表示手段にて前記第2の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第3の手順により検知した場合に、前記第2の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更する第4の手順と、を実行することを特徴とする画面表示方法。

【請求項5】

画面表示装置に設けられているコンピュータに、

表示手段（3）にて第1の指定位置を指定するためのユーザ操作を検知する第1の手順と、

前記表示手段にて前記第1の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第1の手順により検知した場合に、前記第1の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって前記表示画面のスクロールを開始する第2の手順と、

前記表示画面をスクロール中に、前記表示手段にて前記第1の指定位置とは異なる第2の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第1の指定位置から前記第2の指定位置まで移動した操作を検知する第3の手順と、

前記表示手段にて前記第2の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第3の手順により検知した場合に、前記第2の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更する第4の手順と、を実行させるための画面表示プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載した発明によれば、制御手段は、表示画面をスクロールするためのユーザ操作を操作検知手段により検知すると、表示画面をスクロールする。制御手段は、表示手段にて第1の指定位置を指定するためのユーザ操作を検知すると、第1の指定位置と表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって表示画面のスクロールを開始する。その後、制御手段は、表示画面をスクロール中に、表示手段にて第1の指定位置とは異なる第2の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を表示手段にタッチしたまま第1の指定位置から第2の指定位置まで移動した操作を検知すると、第2の指定位置と表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

このように表示画面をスクロール中に、ユーザが指を表示手段にタッチしたまま第1の指定位置から第2の指定位置に移動すると、スクロール方向及びスクロール速度を動的に変更するようにした。これにより、表示画面をスクロール中に、ユーザがスクロール方向及びスクロール速度を変更したいという要望に応えることができる。その結果、スクロールの機能の性能を高めることで、操作性を高めることができる。